



写真提供：(公財)野口英世記念会

横浜市 長浜ホール「野口英世博士への手紙コンテスト」原稿用紙

学校名
西金沢学園

6年

1組 名前

長岡理紗

私 は、ピアノの発表会で長浜ホールに何度
 も行っています。その度に、野口英世博士の
 旧細菌検査室を見学しました。
 博士は幼いときに手をやけどし、不自由に
 なってしまわれました。手術が成功し、難し
 い試験を乗り越え、医師になりました。私
 の兄が医師になろうとしているため、どれだ
 け勉強したのかがものすごく分かります。
 北里柴三郎研究所の助手となり、ペストに
 ついて勉強し、重米利加丸船員からペスト患
 者を発見することができました。日本に感染
 が広がるのを防いでくださり、当時の日本人
 は、博士にとっても感謝しています。
 もし今も博士が生きていたなら、コロナウ
 イルスの感染を防いでいたと思います。世界
 中の人が喜んだはずで
 黄熱病の研究中に感染し、命をささげられ
 昔も今も多くの人に感謝されています。
 本当にありがとうございました。